

室内楽の夕べ

チェロ:アレクセイ・ナイデョーノフ
ピアノ:新見フェイギン浩子
ヴァイオリン:堀江恵太



シューマン: 幻想小曲集 作品73

D. ショスタコーヴィチ:
チェロソナタ ニ短調 作品40
ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 作品67
ほか

吹田市文化会館メイシアター小ホール

5月8日(木) 19時開演(18時半開場)

入場料(全席自由)一般:3,000円 25歳以下:1,500円
高校生:1,000円 中学生:500円 小学生:無料

《お問い合わせ お申込み》

☎080-2528-9937(堀江)

☑公式ラインQRコード→

△吹田メイシアター(9:00~18:30)一般チケット、窓口販売のみ



ALEKSEI NAIDENOV
アレクセイ・ナイデューノフ (チェロ)

1968年旧レニングラード生まれ(現在サンクトペテルブルク)

6歳から、レニングラード国立音楽学校(リムスキー=コルサコフ)に入学。その後モスクワ音楽院附属音楽学校を経て、モスクワ音楽院にてN. Shyabovskaya に師事する。卒業後1992年からユーリ・ヴァシメット率いる室内楽オーケストラ「ソリストモスクワ」のコンサートマスター。現在に至る。今までのロシア国内、アメリカ、日本、ヨーロッパ、オーストラリアで演奏する。ヴァシメットと共に、トゥール(フランス)、ドイツ、エルバ(イタリア)、メン(イギリス)などの音楽フェスティバルに出演。共演者に、ヴァシメット、ナタリヤ・グッドマン、レーピン、トレチャコフ、アルゲリッチなど。「ソリストモスクワ」は、2008年グラミー賞を受賞した。2019年からは、モスクワ Shnitke音楽院でも後進の指導にあたる。

新見 フェイギン 浩子 (ピアノ)

大阪に生まれる。桐朋学園高等音楽学校に入学する。その後、ハンガリー国立リスト音楽院にてピアノを、ナードル・ジョルジュ・ゾルタン・コシュなどに師事する。その後、1990年からモスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノを、ドミトリー・パンキエロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院長であったディグラム・アリハノフ、ヴァレンティン・フェイギンなどに師事する。その間、旧レニングラードで開催されたショスタコーヴィチ室内楽コンクール(デュオで大であるチェリストのドミトリー・フェイギンと)やソロではイタリアのヴィオッティ国際ピアノコンクールなどで賞を受賞する。

1990年からドミトリー・フェイギンと共演する。2010年の3月に催された演奏会では、モスクワ国立フィルハーモニー協会の批評家たちから大変好評を得た。2006年から2011年までくらしき作楽大学音楽部で指導にあたる。2015年4月から東京音楽大学付属高校講師。2020年から東京音楽大学非常勤講師。

堀江 恵太 (ヴァイオリン)

大阪府立北野高校123期卒。

第1回吹田ティーンズクラシックフェスティバルで賞状賞。第6回横浜国際音楽コンクール大学生弦楽部門第1位。第19回高槻音楽コンクール一般の部第1位併せて高槻市長賞。ジョージア国立トビリシ音楽大学オーケストラとブラームスの協奏曲を、日本センチュリー交響楽団とメンデルスゾーンの協奏曲を共演。シンフォニア・アルシスOSAKAとベートーヴェンの三重協奏曲、ブラームスの二重協奏曲を共演。京都府立芸術大学音楽学部弦楽専攻を首席で卒業。ウィーン国立音楽大学修士課程を最優秀の成績で修了。これまでにヴァイオリンを北淳子、松岡厚一、ギョルギ・ババアゼ、レオニード・ソロコフ、ライナー・キッツェルの各氏に、室内楽をヨハネス・マイスル、アヴォ・クニムジャンの各氏に師事。兄妹ピアノ三重奏「堀江トリオ」メンバー。2023年4月より関西フィルハーモニー管弦楽団のアソシエイト・コンサートマスターに就任。

主催:室内楽の夕べコンサート実行委員会

最寄り駅 阪急千里線「吹田」駅
梅田方面からお越しの場合は
進行方向一番前の改札を出てすぐ

